

スクールワークワークショップ

GLAP1 第2回「世界一大きな授業」：教育と識字の重要性を理解

■ 実施概要

- 講師 三井田真由美&ニック・ラプチャー
- 実施日 2014年6月7日
- 参加生徒:Eクラス、希望者
- 内容 ① 教育の重要性を認識
② 教育普及について海外の現状を認識
③ 分析的思考の構築

■ 教育の重要性を認識

- 女子が教育を受ける権利を訴え、武装勢力に頭を撃たれたパキスタンのマララ・ユスフザイさんの体験を英文で読む。
- 教育にまつわる海外の問題を理解し考察する。
- 文字が読めないという想定インタラクティブエクササイズを実施。

■ 教育普及について海外の現状を認識

- クイズを実施
例) Q1 How many children in the world do not attend primary school?
A. One out of five
B. One out of twelve
C. One out of twentyfive
D. One out of a hundred (Bが正解)

■ 分析的思考の構築

◎次のような質問をして、分析的思考をひきだす。

- How I am feeling now...
Ex) Surprised, Amazed!, How sad...
- あなただったら何をしますか？
- 世界の子どもたちが学校に通えるために…
「大切」だと思ふことから◇の中にA~Iを記入して、順番

に並び替えてみよう。

- A. 世界中の子どもが学校に通えるように日本の政治家に働きかける
- B. お金や物などを集めて教育にかかわるNGOなどに寄付をする
- C. 現地に行って学校を建てる
- D. 教育の大切さや途上国の暮らしについてもっと調べてみる
- E. 文化祭や学園祭を通じて、多くの人に教育の大切さを発表する
- F. 特になにもしない
- G. 国際交流の活動を推進し、外国人と友達になる
- H. 友達や家族に話をする
- I. 新聞に自分のアイデアを投稿する

■ 生徒感想まとめ

文字が読めること、教育を受けることの幸運さを認識した。読み書きは、情報と知識を得るためには必須なスキルである。暴力で抑制されながらも、女子の教育の権利を訴え続けるマララさんの勇気は素晴らしい。日本は平和なので気づかないこともあるが、マララさんの国のような不正がいまだにあることを学んだ。

We realized how fortunate we really are to have the ability to read and write. Literacy is one of the most important skills needed to obtain information and knowledge. Malala is very courageous, even though she was oppressed by violence, she didn't give up advocating for the right to get education for girls. Living in Japan, we don't realize the sad realities in other countries, but we learned that there is still injustice in the world.

